

徳島県神山町

すだち農家

という

暮らしかた

*The Lifestyle of "Sudachi" Farmers
in Kamiyama*



すだちの故郷

ここは、徳島県神山町

神山町は、山あい位置する、人口およそ4,600人の小さなまちです。まちの中央を流れる鮎喰川をはじめ、四季折々の豊かな自然の風景と、それに寄り添う暮らしの営みが今も息づいています。

なかでも、地域の人々が大切に受け継いできた「すだち」は、日本一の生産量を誇り、まちを代表する農産物です。初夏になると、すだち畑一面に白い花が咲き、農家の忙しい季節が始まります。

「一面真っ白に咲くすだちの花を見た瞬間は、もうなんとも言えない気分になります。すだちを近くで見守る農家だからこそあじわえる風景です。」

一年を通して、すだちを愛する食文化が根付くこのまちで、自然とともに生きる、すだち農家という暮らしがあります。



徳島発祥の柑橘 すだち

徳島県が全国生産量の9割以上を占めるすだちは、
県民の食卓に欠かせない存在です。

爽やかで上品な香りとキリッとした酸味が特徴で、旬
の食材はもちろん、和・洋・中を問わず幅広い料理や
飲み物と相性抜群。使い方の多彩さに加え、減塩や
疲労回復、豊富な栄養素の面からも、近年あらためて
注目されています。

爽やかな香りと
キリッとした酸味



次世代につなぐ、すだちと暮らし

昼夜の寒暖差が大きく、雨量の多い中山間地の神山町は、すだちの露地栽培に適しています。1960年頃から本格的な栽培が始まり、熱意ある農家たちが生産量日本一の産地を築き上げました。収穫や剪定は手作業で行うため、大型機械が必要な米農家や野菜農家に比べ、初期投資が少ないのが特徴です。近年は県外から移り住み、すだちのある暮らしを守り、つないでいく新規就農者も生まれてきています。



世界に拡げる、すだちと食文化

神山町では、自治体や関係団体、農家が連携して、料理人が新たなレシピを開発する「すだち遍路」の企画や高円寺阿波踊り等、都市部への出店、海外でのPR活動を通して、全国、そして世界にすだち文化を発信しています。

近年は、飲食店や飲料メーカーでの活用も広がり、すだちサワーをはじめとする関連商品が増えてきました。さらに、SNSやオンライン販売の浸透により、幅広い層からの需要も着実に高まりつつあります。



大阪万博での出店



手軽に届くすだちのレターパックセット

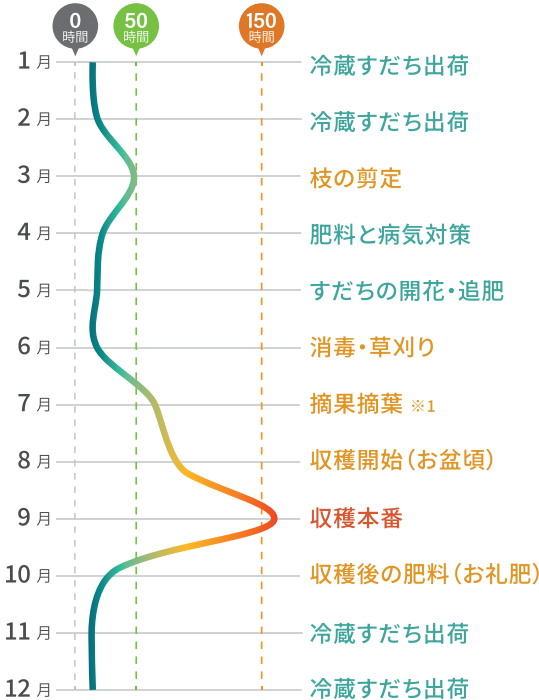
全国の料理人との共演で生まれた数々のすだちメニュー

すだち農家の1年

神山町のすだち農家は8月～9月にすだちを収穫し、そのまま旬の時期に出荷する露地すだちと、低温貯蔵し10月～3月に出荷する冷蔵すだちを組み合わせることで生計を立てています。ライフスタイルに合わせて、経営面積や出荷期間を考えていきます。

月別合計労働時間（経営面積10aあたりをイメージ）

神山町のすだち農家の平均経営面積：32a



※1 果実や葉を間引いて、残りの実の品質や生育を良くする作業
 ※2 グラフは徳島県農業経営指標と地域の方への聞き取りにより作成



7月 摘果摘葉



8月～9月 収穫



8月～9月 袋詰め



10月～3月 冷蔵すだち出荷

農閑期の過ごしかた

農閑期は他の仕事と組み合わせることができるのも特徴です。ゆずやキウイといった他の果樹の栽培に取り組んだり、これまでの経験やスキルを活かした仕事をしたり、自分らしい働き方をつくることができます。

まずは援農や研修からはじめる

繁忙期に農家のお手伝いをする援農や、すだち農家になるための研修を通して、農家のそばで学びながら、すだちのある暮らしを体験できる機会があります。毎年受け入れを行っているので、まずは神山町へお越しください。

研修機関 NPO法人里山みらい



研修中は地域に入り、作業や活動を通して地域の方とコミュニケーションをとりながら、農家としての経営のノウハウも学ぶことができます。新しいことにチャレンジし、うまくいったことを共有し合える環境があります。楽しく前向きに農業と向き合いたい方をお待ちしています。

神山グリーンファーム 長尾英智さん



毎年、様々なところから研修生や援農の方々に来てもらって助かっています。今は、若手農家が次のリーダーとして活躍できるよう、顔の見える関係づくりを大切にしています。お花見などで集まり、世代を超えて、農業のことや生活のことなども気軽に話せるような機会をつくっています。

新規就農した先輩農家に聞く すだち農家の仕事と暮らし

詳しいインタビュー動画は
こちらからご覧ください。



CASE

1 メリハリのある働きかたを楽しむ

國本量平さん(クニモトすだち農園)就農4年目/経営面積40a

農家の仕事は、季節や気候に合わせた働き方が基本です。雨の日は休み、晴れの日には畑に出て作業します。最近では夏がすごく暑く、朝早く起きて収穫しています。繁忙期は長い時間、畑にいななければいけないことはありますが、段取り次第である程度自分で調節はできます。

農閑期には、これまでの飲食業界での経験を活かし、不定期で料理の仕事をしたり、DIYに取り組んだりしています。また、すだちを持って県外の飲食店などへ営業に出かけることもあります。繁忙期と農閑期がはっきりしているため、メリハリをつけて仕事に取り組みたい人にはおすすめです。



CASE

2 援農を通じて出会った、神山町とすだちの魅力

遠國優さん(和柑橘とおくに)就農5年目/経営面積45a

援農アルバイトをしていたときに、すだち農家の後継者不足について話を聞きました。そのときに、少しでも良いすだちを残し、次の世代に伝えるようなことがしたいと思い、新規就農しました。

当時40代半ばだったこともあり、他の作物のように糖度を競いながら、広い園地を管理するのは大変だと感じていました。その点、すだちはこれから辞められる方が多い分、新たに参入しやすい作物だという印象がありました。また、すだちの栽培は手作業でしかできない作業も多く、機械化が難しい分、新規就農者にとって初期の設備投資が少ない点は魅力のひとつだと感じています。



CASE

3 神山町で見つけた「ちょうどいい」暮らし

遠國悠子さん(和柑橘とおくに)

最初、お試し住宅で実際に暮らしながら、仕事や家探しができたことがとてもよかったです。人との距離も近く、いろんな人に気さくに声をかけてもらえる環境があり、子育てのしやすさも感じています。また、徳島市内へ車で40分とアクセスも良く、面白いことに挑戦している人が多いのも神山町の魅力です。田舎すぎず都会すぎず、ちょうどいい距離感のまちだと感じています。

現在は無農薬のすだちタルトをつくり、道の駅やSNSで販売しています。すだちの魅力を活かした焼き菓子を開発し、より多くの人に手に取ってもらいやすいお土産づくりにチャレンジ中です。



新規就農へのステップ

就農相談

まずは、神山町の農業担当へお気軽にお問い合わせください。
すだち農家のための補助制度や研修などについてご案内します。

興味を持った方は、神山町へ

神山町ですだち農家体験・家探し

神山町に滞在し、地域の人や取り組みに触れながら、すだち農家体験や夏の援農アルバイトを試みるのがおすすめです。家族形態や希望に合わせて、家探しのサポートも行っています。

研修を通して、地域に溶け込みながら、すだち農家になりたい

農業経験があり、自分のペースで仕事・暮らしをつくりたい

1~2年
※1

研修＋就農準備

研修園地での実践や先進農家での訪問研修、各種講習会受講、6次産業化の研修(週5日8時間)
生活費の一部を補助 ※2

同時に、まちのサポートや研修先からのアドバイスを受けながら、設備や道具、農地を確保します。

新規就農者向けの各種補助あり ※2

1~2年
※1

就農準備

町内で開かれるすだち講習会へ参加したり、地域の農家からアドバイスを受けながら、技術を学びます。地域の中で関係を築きながら、設備や道具、農地を確保します。

新規就農者向けの各種補助あり ※2



就農

地域の中で農地を継承したり、苗木を植えたりしながら、徐々に経営面積を広げていく人が多いです。神山町独自の補助やJAの技術講習などのサポートも受けられます。

※1 個人の状況や経験によって、必要なステップや年数は変わります。

※2 補助制度には、諸条件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

神山町へのアクセス

- ・高松自動車道「板野IC」を下りて約50分
- ・大阪から：大阪駅から徳島駅(高速バス 約2時間30分)
→徳島駅から神山町(バス 約1時間)
- ・東京から：羽田空港から徳島空港(飛行機 約50分)
→徳島空港から神山町(バス 約1時間30分)

お問い合わせ

神山町役場 産業観光課 農業担当

Tel : 088-676-1118

E-mail : sangyoukanko@kamiyama.i-tokushima.jp



神山町役場 HP



NPO法人里山みらい